

令和4年度 第2かろーれキッズ川鶴 職員自己評価表 集計結果

配布数；4 回答数；4 割合；100%

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 該当なし | 改善目標、工夫している点など |
|---------|---|---|----|-----------|-----|------|---|
| 環境・体制整備 | ① | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | 0 | 0 | 4 | 0 | ・少人数での活動には適していますが、区切られた空間があれば更に個別療育の幅が広がるため改善を検討してまいります。 |
| | ② | 職員の配置数は適切であるか | 1 | 3 | 0 | 0 | 発達の特性にあうように職員を配置できるようにしていければと思います。 |
| | ③ | 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか | 3 | 1 | 0 | 0 | 環境設定においては、常に見直しながら、出来る限りの工夫と改善を行っていますが、場所によっては、更なる改善が必要なため徐々に整えていく予定です。 |
| | ④ | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか | 3 | 1 | 0 | 0 | 発達の特性に合った活動が出来る空間作りを目指していきます。 |
| 業務改善 | ⑤ | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | 4 | 0 | 0 | 0 | 日々、反省点や改善点を話し合い、共有しております。 |
| | ⑥ | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | 4 | 0 | 0 | 0 | 日頃のコミュニケーションを大切にし、モニタリングを通して、業務改善に努めております。 |
| | ⑦ | 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | 4 | 0 | 0 | 0 | |
| | ⑧ | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | 4 | 0 | 1 | 0 | |
| | ⑨ | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | 4 | 0 | 1 | 0 | ・回数が少ないですが、内部研修をはじめ、外部研修への積極的な参加を検討しています。 |

| | | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 該当なし | 改善目標、工夫している点など |
|---------------------------------|---|---|----|-----------|-----|------|--|
| 関係機 や保 護者 との 連 携 | ⑳ | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | 4 | 0 | 0 | 0 | |
| | ㉑ | 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか | 3 | 1 | 0 | 0 | |
| | ㉒ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| | ㉓ | (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか | 0 | 0 | 0 | 4 | |
| | ㉔ | 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 4 | 0 | 0 | 0 | |
| | ㉕ | 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか | 2 | 1 | 1 | 0 | ・特に小学校との連携を意識し、共有できる場を設定していければと思います。 |
| | ㉖ | 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | 2 | 1 | 1 | 0 | ・積極的に参加していきたいと思っています。 |
| | ㉗ | 保育園や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか | 1 | 1 | 2 | 0 | ・保育園との交流を取り入れていき、今後、定期的な活動ができる機会を増やしていければと思います。 |
| | ㉘ | (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか | 0 | 4 | 0 | 0 | |
| | ㉙ | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | 3 | 1 | 0 | 0 | |
| | ㉚ | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | 0 | 3 | 1 | 0 | モニタリングを通して、子どもに対する対応については一緒に考え、実践しやすい方法の提示は行っていますが、全家庭向けのものを行っていないため、今後は定期的開催できるような計画を検討してまいります。 |

| | チェック項目 | はい | どちらともいえない | いいえ | 該当なし | 改善目標、工夫している点など |
|------------|--|----|-----------|-----|------|--|
| 保護者への説明責任等 | ③② 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | 3 | 1 | 0 | 0 | |
| | ③③ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか | 3 | 1 | 0 | 0 | |
| | ③④ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | 3 | 1 | 0 | 0 | |
| | ③⑤ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | 0 | 2 | 2 | 0 | ・今現在、保護者会はなく、保護者同士が連携できる機会はないですが、きっかけ作りの場は提供していきたいと思います。ニーズがあれば、その都度対応してまいります。 |
| | ③⑥ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | 4 | 0 | 0 | 0 | 場合によっては、本部と連携を取り適切に対応しております。 |
| | ③⑦ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護事保護者に対して発信しているか | 3 | 1 | 0 | 0 | 毎月、お便りで子ども達の様子を伝えHP上に掲載しております。 |
| | ③⑧ 個人情報に十分注意しているか | 4 | 0 | 0 | 0 | |
| | ③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | 4 | 0 | 0 | 0 | 保護者との共通理解や情報共有を丁寧に行うことを意識し、情報伝達のための効果的な手段については、日々、模索しながらの実践を行っております。 |
| | ④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | 2 | 1 | 1 | 0 | 行事に招待する等の地域に開かれた運営は行っていませんが、事業所を理解してもらい地域に受け入れてもらえるような交流内容を検討してまいります。 |

| | | チェック項目 | はい | どちら ともい えない | いいえ | 該当 なし | 改善目標、工夫している点など |
|---------|----|---|----|-------------------|-----|----------|--|
| 非常時等の対応 | ④① | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | 0 | 4 | 0 | 0 | 職員への周知は共通システムや紙ベースでされていますが、保護者には周知されておらず、感染症対応のみ、行政からの通達があった時に周知しております。 |
| | ④② | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | 4 | 0 | 0 | 0 | 毎月、行っております。 |
| | ④③ | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか | 4 | 0 | 0 | 0 | ・確認をしっかりと行い、必要に応じて、保護者から状況を確認し、安全に過ごせるように配慮しております。 |
| | ④④ | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | 4 | 0 | 0 | 0 | 今現在、アレルギー児の利用はありませんが、今後利用希望があった場合は適切な対応ができるようにしていきます。 |
| | ④⑤ | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか有しているか | 2 | 2 | 0 | 0 | 作成の頻度が少ないので、日常のちょっとした『ヒヤリハット』を作成していけるように様式を簡素化し、記録する習慣をつけてまいります。 |
| | ④⑥ | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | 2 | 1 | 1 | 0 | ・研修を基本とし、ちょっとした子ども達の変化を見過ごさないように注意深く観察を行い、保護者の様子についても話しやすい場面の設定と、気持ちを引き出せるような雰囲気作りを心がけております。 |
| | ④⑦ | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか | 2 | 1 | 1 | 0 | ・『利用契約書』の内容に記載されており、解約時には説明を行い了承を得ております。 |